

授業科目名	授業担当者(担当)氏名	区分	単位	年間授業時間	受講学年	開講年次
楽曲研究基礎	佐藤 岳晶	選択	1	15時間	1/2	毎年

《授業の概要》

楽曲研究基礎では、修士論文執筆のための指導を行う。従って、履修する場合は2年通して履修しなければならない。1年次は、音楽研究における様々な方法・視点に触れる。その中で特に、演奏実技を専攻しつつ「研究」を同時に行うことの意義とその可能性について考えたい。各回のテーマをめぐり、講義とゼミナール形式を取り混ぜて授業を進める。2年次は、初回の授業を除き、個別レッスン形式で研究と論文執筆の指導を行う。

《到達目標》

1年次:①音楽研究における様々な方法・視点について理解する。②様々な研究文献に触れる。③修士論文のテーマと研究方法を決める。
2年次:計画された研究内容を実行し、修士論文を完成させる。

《授業計画》

【第1年次】

- 第1回 (2コマ)
 授業: ガイダンスと導入 —— ①演奏実践と「研究」を結ぶ ②様々な研究方法・視点 ③修士論文執筆に至るプロセス
 事前: 不要
 事後: 不要
- 第2回 (2コマ)
 授業: 研究テーマと出会う —— 内田義彦「学問と芸術」をめぐって
 事前: 内田「学問と芸術」を読み、批評レポートを作成する。
 事後: 授業内で議論したことへの省察。
- 第3回 (3コマ)
 授業: 演奏の実践を捉える・記述する —— 『ピアノを弾く身体』を読む
 事前: 岡田暁生監修『ピアノを弾く身体』を読み、批評レポートを作成する。
 事後: 授業内で議論したことへの省察。
- 第4回 (2コマ)
 授業: 演奏の現場を観察する —— 音楽人類学のアプローチ(参与観察、フィールドワーク)に学ぶ
 事前: 事前に配布する資料を読む。
 事後: 授業内で議論したことへの省察。
- 第5回 (3コマ)
 授業: 社会・世界の中での音楽芸術の営みを捉える —— カルチュラル・スタディーズ、ニュー・ミュージコロジーにおけるアプローチ
 事前: 事前に指示する関連文献を読み、批評レポートを作成する。
 事後: 授業内で議論したことへの省察。
- 第6回 (2コマ)
 授業: 過去の作品と新たに出会う＝解釈する —— 事例: メシアンからドビュッシーを読み直す
 事前: 不要。
 事後: 授業内で議論したことへの省察。
- 第7回 (1コマ)
 授業: 修士論文についての個別面談
 事前: 面談資料の作成。
 事後: 面談内容を振り返り、修士論文への準備を進める。

【第2年次】

- 第1回
 授業: 導入(講義): 言葉について考える —— 論文の言葉とうた(詩)の言葉、学問と詩学(ポエティカ)

事前： 不要。
事後： 授業内で議論したことへの省察。

第2回

授業： 修士論文のテーマと研究手順の確認(個別レッスン)
事前： 上記に関する報告資料の作成。
事後： レッスンで検討されたことへの省察。

第3回

授業： 論文の章立ての検討と参考文献表の作成(個別レッスン)
事前： 上記に関する報告資料の作成。
事後： レッスンで検討されたことへの省察。

第4回

授業： 研究の進捗状況の確認と論文添削①序盤(個別レッスン)
事前： 研究と論文執筆。
事後： レッスンで指摘されたことへの再検討・修正。

第5回

授業： 研究の進捗状況の確認と論文添削②中盤(個別レッスン)
事前： 研究と論文執筆。
事後： レッスンで指摘されたことへの再検討・修正。

第6回

授業： 研究の進捗状況の確認と論文添削③終盤(個別レッスン)
事前： 研究と論文執筆。
事後： レッスンで指摘されたことへの再検討・修正。

第7回

授業： 修士論文全体のまとめ・添削と論文要旨の添削(個別レッスン)
事前： 論文、要旨の執筆・推敲。
事後： レッスンで指摘されたことへの再検討・修正。

第8回

授業： 修士論文、要旨の最終確認(個別レッスン)
事前： 論文、要旨の執筆・推敲。
事後： 修士論文、要旨の最終確認を行い提出する。

《履修資格／履修に必要な予備知識や技能》

1・2年次生

《授業の形式》

授業、レッスン

《成績評価の要点》

第1年次：

試験： — 提出課題・作品発表等 80% 受講姿勢： 20%

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し「合格」又は「不合格」で評価する。

第2年次：

成績評価は、修士論文面接(審査)によって「優」「良」「可」「不可」で評価する。

《課題(試験・レポート等)に対するフィードバック方法》

授業内で担当教員によりコメントする。

《教材》

授業時にその都度、紹介・配布する。

《授業時間以外で、この授業内容等について質問がある場合》

メールにてまずはお問い合わせください。